

STAGE 1-6

旧小牧工場

新設 1986 (昭和61) 年閉鎖後建替え

竣工 DATA

竣工年月	1968 (昭和43) 年4月	
設計者	松本設計	
施工者	日東建設	
施設概要	敷地面積	14,335.97㎡
	延べ床面積	1,874.50㎡
	構造	S造1階建
	プラットホーム	開放型高床式
	防熱方式	内防熱
収容能力	総トン数	2,483.00t
	F級	2,454.60t
	C級	28.40t
	C&F	×
	ドライ	×
	凍結	3t/日
	冷却設備	施工者
冷凍機メーカー		不明
主要冷凍機		高速多気筒冷凍機
冷媒		アンモニア
冷却方式		集中式・強制循環式・ユニットクーラー
その他設備	精肉加工場併設、1973 (昭和48) 年4月 水産物畜産物包装センター開設	



小牧工場〔1968 (昭和43) 年〕



小牧工場は小牧インターチェンジのすぐ近くに建設された




小牧加工センター (畜肉加工)


の冷蔵倉庫を利用する企業はあまりなく、他社の荷物が入る可能性は少なかったのだけど、小牧地区には食肉加工場が多数あったことから販売部門が運営する精肉加工場をメインに営業倉庫も兼ねた倉庫だね。

東名高速が全線開通の直前で、すでに開通していた名神高速道路小牧インターチェンジのすぐ近くに立地しているので、将来高速道路を利用した物流が主流になると見越した上での先行投資の意味合いも含まれていたと思うよ。

本格的な食品加工場を併設した 内陸物流型冷蔵倉庫

 旧名古屋工場、旧東京工場に続く昭和40年代中盤、初めて内陸にも工場を建てていますよね。これらは、どんな設備だった

たのですか？

 現在のように高速道路によるトラック輸送が当たり前の時代ではなかったので、内陸部

column ヨコレイと食品加工場

当社は冷蔵倉庫の建設と並行して、全国に様々な加工場を作っていた。

水産物では、釧路工場、八戸工場、気仙沼工場、女川工場、大井川工場、唐津工場、長崎工場において、前浜に水揚げされる魚の凍結と合わせてすり身、フィレー、切身などの加工品を製造し、畜産物では、子安工場、小牧工場、養老工場、川辺工場、鹿児島工場において、精肉のミンチやスライス、ハム・ソーセージ用原料として枝肉の処理などを行っていた。加工場の中でも小牧工場(加工センター)と子安工場(畜産部)では原料処理以外にヨコ

レイブランドの海老トレーパックやトンカツなどの製品まで製造していたことから、当時販売部門の新入社員の多くがこの2つの事業所に配属され、早朝から原料買付、加工場での作業、製品の配達まで携わることで、様々な商品のことを基礎から学んでいた。

